

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院で15年間に経験した子宮破裂症例の検討
研究責任者	降旗 莉子、有馬 香織
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	子宮破裂は妊娠中や分娩時に起こる子宮の裂傷で、母児ともに重篤な状態に陥る疾患です。急激な腹痛で発症し、大量出血のためショック状態に至る可能性あり、高次医療施設での迅速な対応が求められます。帝王切開術や子宮手術の既往がある妊産婦に比較的多いとされますが、手術歴のない妊産婦にも起こり、その頻度は稀であるためこれまでの報告が少なく、発症リスクの評価や診断に難渋します。当院で経験した子宮破裂症例について振り返り、リスク因子や母体および新生児予後を評価するため本研究を実施します。
研究方法	2006年9月から2021年12月の期間に日本赤十字社医療センターで分娩された方と母体救急搬送された方のうち、子宮破裂と診断された方を研究対象とします。対象となる妊産婦さんについて、背景、臨床症状・所見、過去の手術歴、妊娠・分娩経過、治療、母体・新生児予後等を調査し、子宮破裂のリスク因子を評価・検討します。この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて妊産婦さんにおこなっていただくことはありません。個人情報厳重に管理し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形式で実施します。この研究へのご協力は妊産婦さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その方の情報を利用することはありません。この研究への情報提供を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：降旗莉子、有馬香織 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604